

WILCOMM

メッセージリスト操作ガイド

(P C) : 補足

OTH005 (Last Update : 2002/5/28)

WilComm AS400 V7.15

© Copyright 2000

K.I.S.S. Inc.



本解説書は、P C S e r v e r 上のメッセージリスト（送信状況照会機能）の画面項目：
「参照」に表示されるデータ値の設定方法を解説しています。

目 次

1 . 画面項目：参照の表示内容設定	3 頁
2 . W i l C o m m を運用するにあたってのご提案	9 頁

1 . 画面項目：参照の表示内容設定

画面項目：参照はWilCommが取得したスプールファイルデータの内容により設定されます。この設定はWilCommのシステム設定機能【WilCommConfig】で行います。

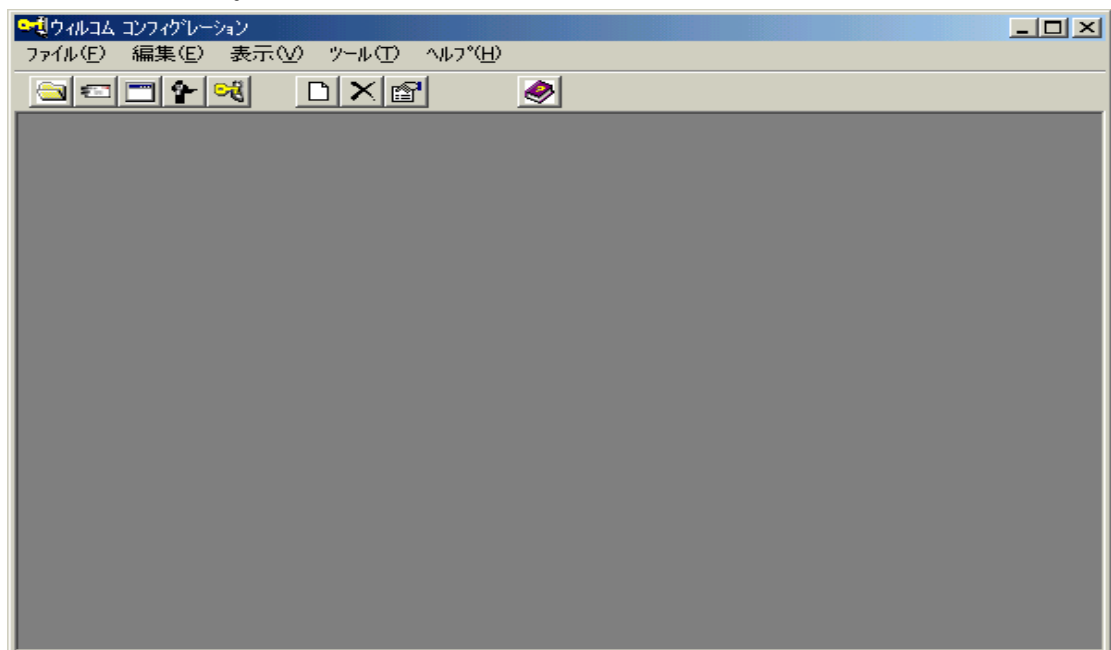
当マニュアルではメッセージリスト上の画面項目：参照を設定するための箇所のみの説明となっています。

このWilCommConfigはWilCommを動かすための核となるデータが設定されていますので、操作には十分注意をお願いいたします。

その他設定項目（設定内容）につきましては弊社にお問合せくださるようお願いいたします。

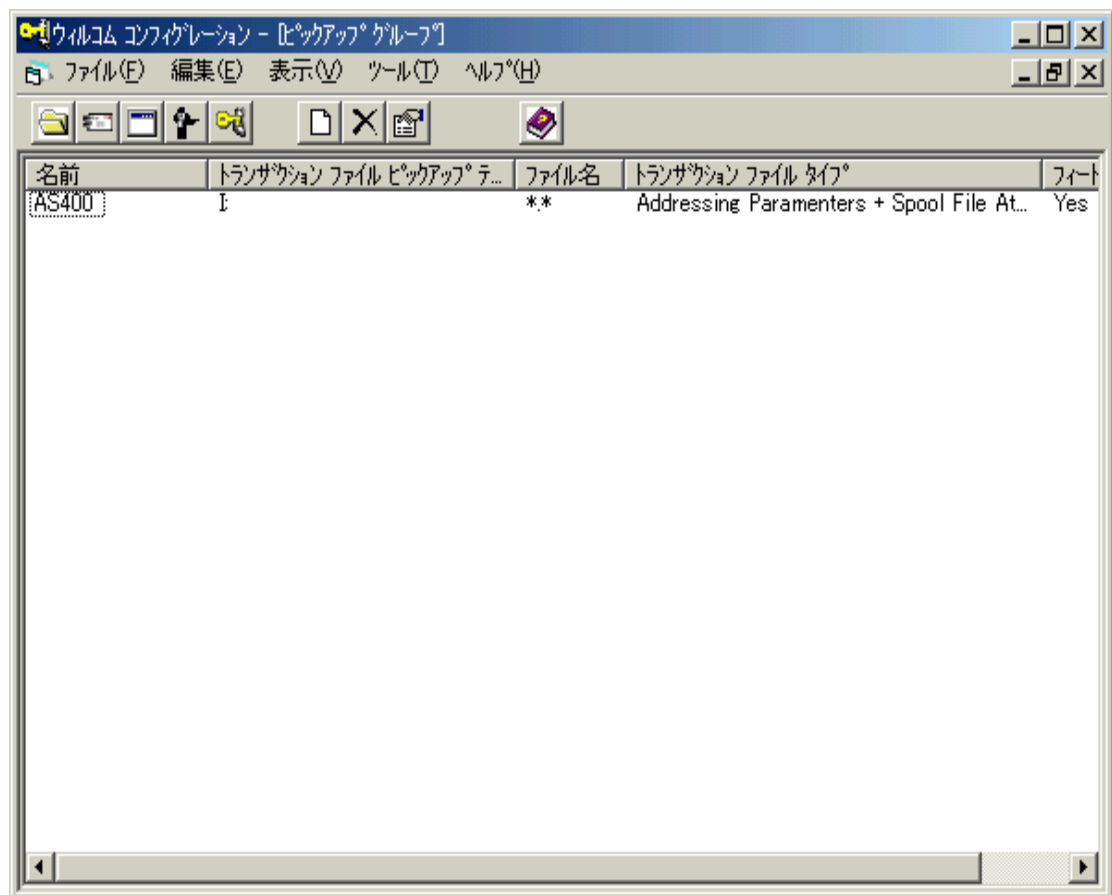
1 - 1 . システム設定機能【WilCommConfig】

[スタート] / [プログラム] / [WilComm Universal] / [WilComm Config] を実行します。



ウィルコムコンフィグレーション画面が表示されます。

[表示] / [ピックアップグループ] を実行します。



該当するピックアップグループ（上記 の例では「AS400」）をダブルクリックします。

ピックアップグループ編集

ピックアップグループ: AS400

ファイルの取り出し

ピックアップディレクトリ: I

ファイル名: **

ファイル形式: トランザクション ファイルには、アドレス パラメータとスプール ファイル属性が記述されています 詳細...

参照: スプール ファイル属性 詳細...

ホストからメールに添付されるファイル

ピックアップディレクトリ: IATTACH

ホストへ返す実行結果

☒ 以下のディレクトリーへ、実行結果のファイルを作成

ディレクトリー: IRESULTS

ファイル拡張子: 詳細...

ウィルコム サービス用 送信メールの通知

WilPrint: ☐ 失敗のみ ☐ すべて ☒ 無し WilTelex: ☐ 失敗のみ ☐ すべて ☒ 無し

WilFax: ☐ 失敗のみ ☐ すべて ☒ 無し WilComtext: ☐ 失敗のみ ☐ すべて ☒ 無し

WilMail: ☐ 失敗のみ ☐ すべて ☒ 無し

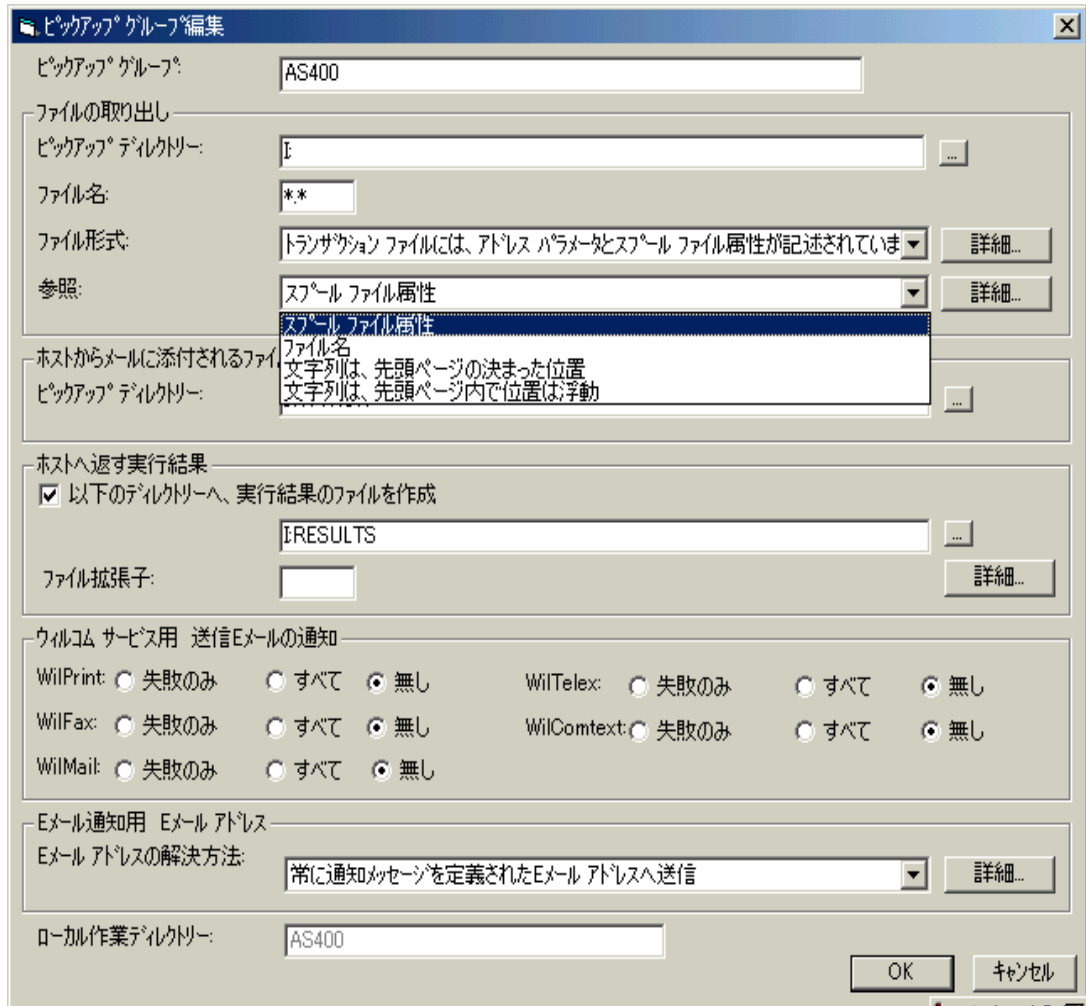
Eメール通知用 Eメール アドレス

Eメール アドレスの解決方法: 常に通知メッセージを定義されたEメール アドレスへ送信 詳細...

ローカル作業ディレクトリー: AS400

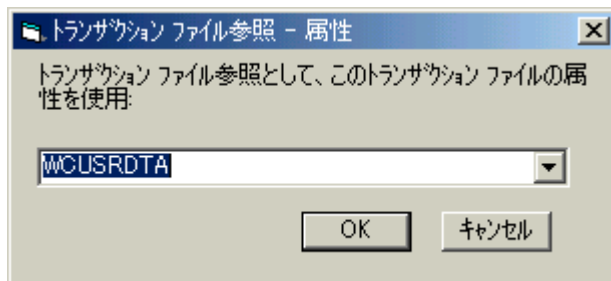
OK キャンセル

「ファイルの取り出し」という枠にある、設定項目：参照の矢印ボタンをクリックします。

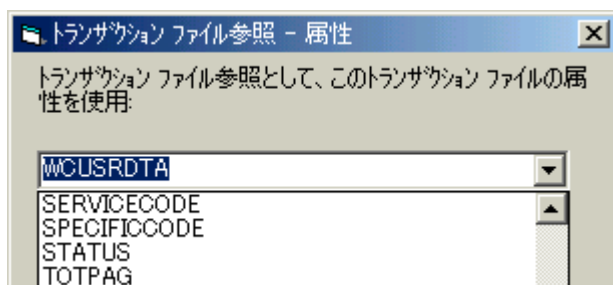


上記ウィンドーより該当する参照の設定方法を選択し、詳細ボタンをクリックします。

・スプールファイル属性



スプールファイルの属性がメッセージリストに表示されます。
矢印ボタンをクリックすることにより各種属性が指定できます。



どの属性情報を使用する決定します。

例：FILE	...	スプールファイル名
FORMTYPE	...	用紙タイプ
USER	...	スプールファイルの作成者
WCUSRDTA	...	ユーザーデータ

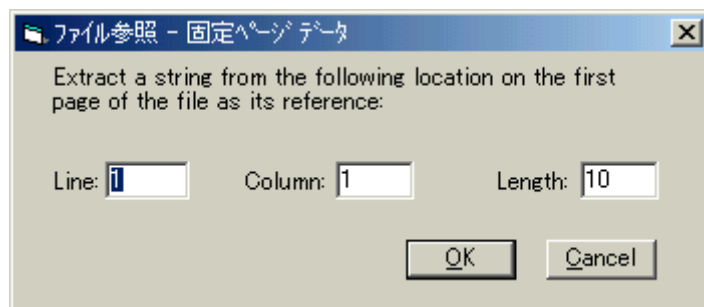
・ファイル名

この設定では詳細ボタンは画面に表示されません。
ここで設定されるファイル名はスプールファイル名ではない事に注意してください。

WilComm は AS/400 で作成されたスプールを PC Server に転送する際にテキスト化します。このテキスト化されたデータは WilComm が自動で付番したファイル名（先頭 S + 連番）で保持されます。

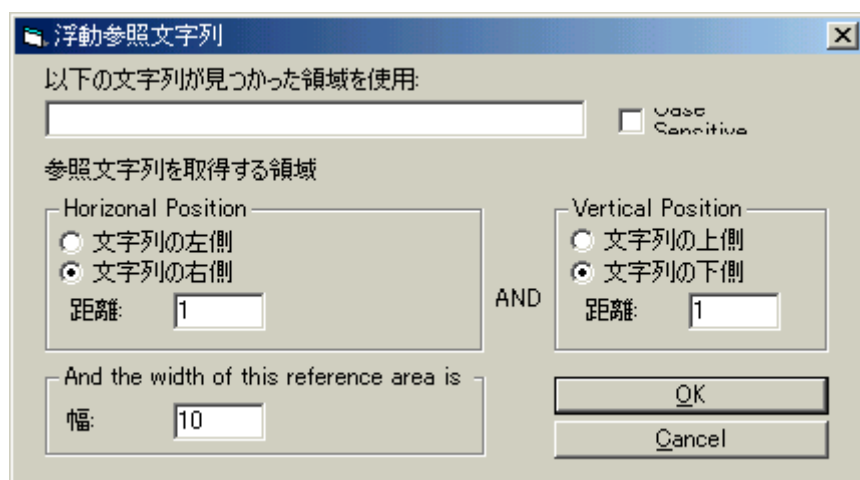
ここで作成されたファイル名が、この設定を使用した時に、メッセージリストに表示されます。

- ・ 文字列は、先頭ページの決まった位置



指定された位置に印字されている内容が、メッセージリストに表示されます。

- ・ 文字列は、先頭ページ内で位置は浮動



特定のキーワードを検索し、そのキーワードに後続する文字列がメッセージリストに表示されます。

設定は以上です。ここで設定した内容をWi1Commに反映するために必ず、PC Server上で動いているWi1Comm関係JOBを停止 / 開始を行う必要があります。

2 . W i l C o m mを運用するにあたってのご提案

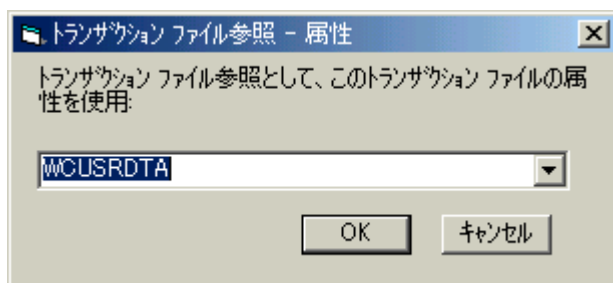
W i l C o m mで処理されたスプールファイルの送信状況や結果を管理するメッセージリストはA S / 4 0 0 側およびP C S e r v e r 側とあります。

通常の場合、A S / 4 0 0 側メッセージリストの機能のみで運用できますが、送信エラーとなった場合に、A S / 4 0 0 側メッセージリストでは、その送信エラーとなった原因を示すエラーメッセージを全桁表示することができません。その際はP C S e r v e r 側メッセージリストを使用してエラーメッセージの確認をする必要があります。

そこで、一目でわかるように、A S / 4 0 0 側メッセージリストに表示されるメッセージIDをP C S e r v e r 側メッセージリストにも、このメッセージIDを表示するような設定を行います。

前述 1（画面項目：参照の表示内容設定）で、

・スプールファイル属性



があります。

ここで、この設定を「USRDTA」にします。この設定によりP C S e r v e r 側メッセージリストにメッセージIDが表示されます。

【AS / 400側メッセージリスト】

メッセージ	件名	WILCOMM	メッセージ・リスト	状況
MSG12620	SBS00000120	02/05/21	AAAA	E-M 処理中
MSG12619	WILCOMM インターネット	:	KOIDE-FAX	FAX エラー <F
MSG12618	WILCOMM インターネット	:	KOIDE-FAX	FAX エラー <F
MSG12617	WILCOMM インターネット	:	KOIDE-FAX	FAX 送信済
MSG12616	WILCOMM インターネット	:	KOIDE	E-M 送信済
MSG12615	KOIDE-FAX	02/05/20	SPOOL -> FAX-SEND	FAX 送信済

1= 編集 2= 変更 3=上へ 4= 削除 5= 表示 6= 印刷 7=71112 8= 送信 9= 保留 10= 開封
 F3= 終了 F4=メッセージ 表示 F5= 最新表示 F6= 新規作成 F7=メッセージ 選択
 F8=メッセージ F9=1=上へ 71112 F10=71112 F11= 表示切替 F12= 前面面

【PC Server側】

参照	メッセージ番号	サービス	記述	状況
BSULST 1	3	Print	TEST1	Completed
BSULST 1	4	Print	TEST1	Completed
BSULST 1	5	Print	TEST1	Dispatching
	6	Fax	Koide-F	Completed
	7	Fax	Koide-F	Cancelled
MSG12619	8	Fax	Koide-F	Cancelled
MSG12620	9	Email	No Wizard Section	Ready